OPTEX

ワイヤレスセキュリティシステム　WPB−200
ワイヤレスセキュリティシステムⅡ　WPB−200Ⅱ
ワイヤレスセキュリティシステムⅢ　WPB−200Ⅲ

浴室用押しボタン送信器　取扱説明書

はじめに

このたびは本製品をお買い求めいただきましてありがとうございます。
ご使用になる前に必ず本取扱説明書をお読みください。
この取扱説明書は、保守・管理のために、システムの管理をされる方が、大切に保管してください。

浴室用押しボタン送信器　WPB−200／WPB−200Ⅱ／WPB−200Ⅲは、それぞれワイヤレスセキュリティシステム／ワイヤレスセキュリティシステムⅡ／ワイヤレスセキュリティシステムⅢの受信器と組み合わせて使用し、押しボタン操作により、小電力セキュリティ電波を使用して、電話回線などに自動送信器等を介して、緊急通報を行うための装置です。
その他の用途での使用はしないでください。

1．安全にご使用いただくために

この取扱説明書では、製品を安全に正しくご使用いただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するための表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告	⚠ 注意	⊘
誤って取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表しています。	誤って取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び、物的損害の発生が想定される内容を示しています。	この記号は、禁止を示します。

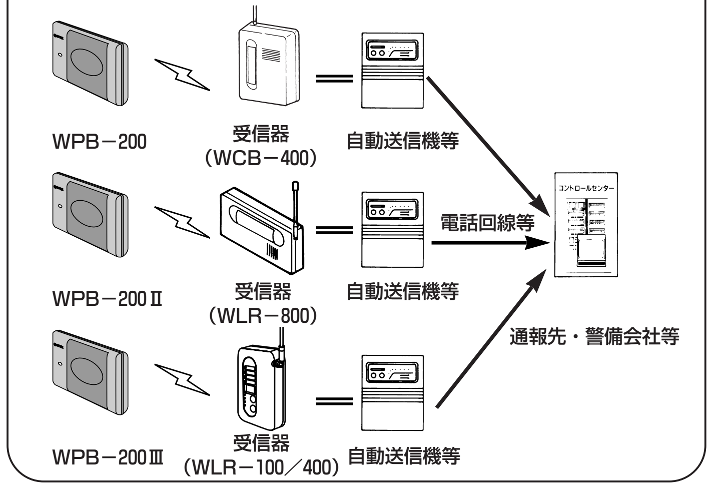
⚠ 警告	⚠ 警告	⚠ 警告
万一煙が出たり、変な臭いがするなどの異常なときは、電池を取り出してください。そのまま使用すると、火災、やけど等の恐れがあります。 ❗	分解や改造は法律で禁じられています。また、お客様による分解・修理・改造は、火災や機器破損の恐れがありますので、絶対にお止めください。 ⊘	電池を分解、加熱、火の中に投入しないでください。破裂・液もれを起こし、けがをする恐れや、機器の故障の原因になります。 ⊘
⚠ 注意	**⚠ 注意**	**⚠ 注意**
乳幼児が不用意に触れない場所に保管してください。けがをする恐れがあります。 ❗	機器が濡れた状態、もしくは、濡れた手でフタを開けないでください。内部へ水が入ると機器の故障の原因になり、非常通報が出来なくなります。 ⊘	機器を浴槽などの水中へは入れないでください。内部へ水が入ると機器の故障の原因になり、非常通報が出来なくなります。 ⊘

おことわり

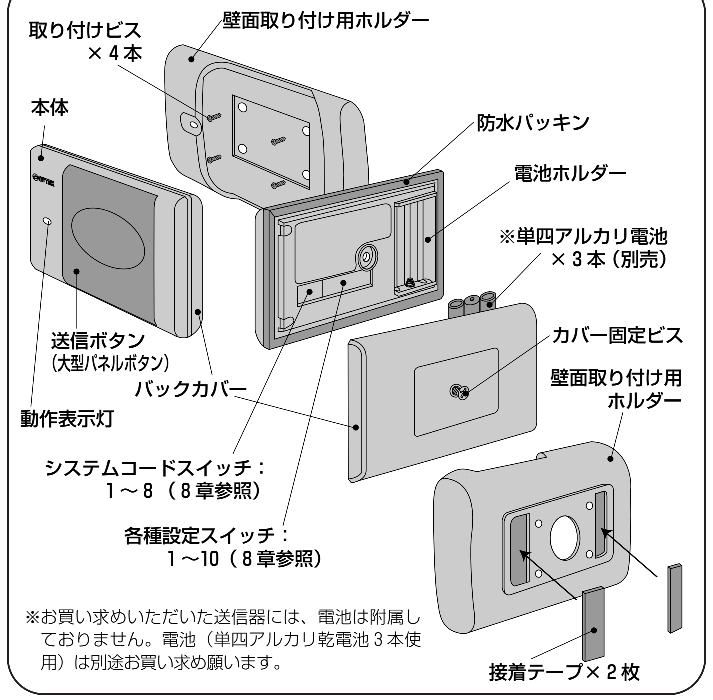
ワイヤレスセキュリティシステム／Ⅱ／Ⅲは侵入者や火災（別途専用センサを取付けた場合）などを検知し、警報を発する機器です。盗難・火災などの防止機器では有りません。
万一発生した盗難・火災事故などによる被害については責任を負いかねます。

2．電気通信回線設備への接続

この無線装置は電気通信回線に接続して使用するものです。ただし受信器は自動送信機等（技術基準適合認定品に限ります。）を介して電気通信回線設備に接続して使用するため、利用する回線の種類は特定しておりません。受信器の自動送信機等（認定品）への接続は、受信器の無電圧接点出力端子（受信器の取扱説明書を参照）を自動送信機等（認定品）のセンサ入力端子等へ接続してご使用ください。



3．各部の名称



※お買い求めいただいた送信器には、電池は附属しておりません。電池（単四アルカリ乾電池３本使用）は別途お買い求め願います。

9．異常時の点検

まったく動作しない。	乾電池は正しい向きに挿入されていますか。	⇨	正しい向きに挿入して下さい。
	送信ボタンを押した時、動作表示灯が点滅していませんか。	⇨	乾電池が消耗しています。 乾電池の交換を行なって下さい。（「６．電池の交換」参照）
送信器の動作表示灯は点灯するが動作しない。	システムコードスイッチは受信器と同じ設定になっていますか。	⇨	１番目〜７番目のスイッチを受信器と同じ設定にし、８番目のスイッチはONにして下さい。
	電波は届いていますか。	⇨	電波が十分に届いていることを確認してご使用下さい。
	受信器は正常に動作していますか。	⇨	受信器の取扱説明書等に従って受信器の確認をして下さい。
ときどき動作しない。	送信ボタンを押した時、動作表示灯が点滅していませんか。	⇨	乾電池が消耗しています。 乾電池の交換を行なって下さい。（「６．電池の交換」参照）
	電波は安定して届いていますか。	⇨	電波が十分に届いていることを確認してご使用下さい。
誤動作をする。	ご近所で同じワイヤレスセキュリティシステムを使用されていませんか。（ご近所の方の信号を受信器が受けている可能性があります。）	⇨	送信器、受信器のステムコードを変更して下さい。 （「８−１．システムコード」参照）
外部への連絡を行なわない。	自動通報装置は動作していますか。	⇨	受信器と自動通報装置等の接続が正しく行なえているか確認して下さい。

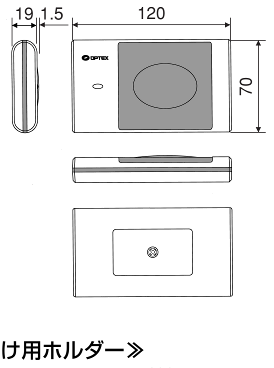
以上の点検を行なっても原因のわからないときには、お買上げ店もしくは弊社へご相談ください。

10．仕様

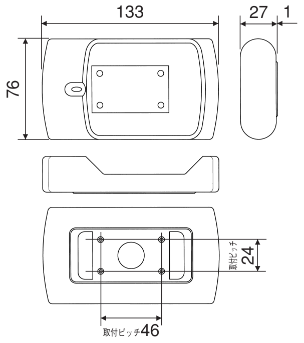
	小電力セキュリティシステムの無線設備 浴室用押しボタン送信器		
	ワイヤレスセキュリティシステム	ワイヤレスセキュリティシステムⅡ	ワイヤレスセキュリティシステムⅢ
	WPB−200	WPB−200Ⅱ	WPB−200Ⅲ
受信器	WCB−400（別売）	WLR−800（別売）	WLR−100／400（別売）
動作表示灯	赤色LED（通常送信時　点灯・ローバッテリ送信時　点滅／誤操作キャンセル受付待機時　点滅）		
動作表示音	ブザー音（送信時／誤操作キャンセル受付待機時　断続音）スイッチにより入／切　設定		
送信ボタン数	大型パネルボタン１個		
送信出力	10mW $^{+20\%}_{-50\%}$		
送信時間 （連続送信モードOFF）	３秒以下		
送信時間 （連続送信モードON）	再度、送信ボタン入力あるまでの間、 ≪約0.5秒送信−２秒休止≫の繰り返し		
使用周波数	426MHz帯		
電波型式	F２D		
標準電波到達距離	100m （但し周囲の状況により距離が短くなることがあります。）		
モード設定数	４モード A.来客 B.在宅 C.外出 D.非常・火災	−	−
受信ゾーン設定数	４ゾーン １ゾーン	−	−
受信ループ設定数	−	８ループ	１ループ／４ループ
システムコード切換（混信防止）	128通り		
ボタン操作受付時間	１秒／0.1秒　スイッチにより切替え		
誤操作キャンセル受付待機時間	約５秒（誤操作キャンセル機能ON時のみ）		
電源	DC4.5V（単四アルカリ乾電池×３本）（別売）		
電池寿命 （常温：25℃使用時）	約１年（１日１回：誤操作キャンセル機能　ON・ブザー音　ON・連続送信　OFF設定時） 約１年（１日100回：上記以外での誤操作キャンセル機能　OFF・連続送信　OFF設定時）		
使用温度範囲	−10°C〜＋40°C		
質量	約150g（本体のみ）		
付属品	壁面取り付け用ホルダー、接着テープ×２枚、取り付けビス×４本		

外形寸法図：単位mm

≪本体≫



≪壁面取り付け用ホルダー≫



※　仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。
（お断り）このシステムは侵入者の検知・押しボタンの操作により、警報を発するもので盗難、事故防止機ではありません。万が一発生した盗難・事故等による損害については責任を負いかねますのでご了承ください。

保　証　書　　WPB−200／200Ⅱ／200Ⅲ

保証期間 ※お買い上げ年月日 より １年間	販売店名
お客様ご住所（〒　　　　　　） （TEL　　　　　　） お名前	〈お願い〉 ・太線枠内はお買上げ時に必ず記入を受けてください。記入なき場合、本書は無効となります。 ・本書は大切に保管してください。再発行はいたしません。

・本書にご記入いただきました個人情報につきましては、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただきます。
・この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

〈保証規定〉

Ⅰ．保証の範囲

1．取扱説明書に記載された正常な使用状態で保証期間中に万一故障を起こした場合、無償にて修理いたします。お買上げ店もしくは弊社へ本書を添えてお申しつけください。

2．この保証は保証書に記載された製品について、日本国内に限り適用いたします。

Ⅱ．保証の範囲
次に該当する故障は､保証期間（お買上げ日より１年間）であっても実費にて修理を申し受けることがあります。

1．誤った取り扱い、不当な修理・改造を受けた製品の損傷に起因する故障。

2．災害など不可抗力による損害。

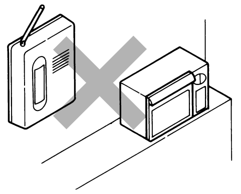
3．本書紙面に必要事項の記入がない場合。また本書と該当製品の提示がない場合。

オプテックス株式会社
本　　社：〒520-0101　滋賀県大津市雄琴5丁目8番12号
TEL（077）579-8620　FAX（077）579-8170
東京営業所：〒160-0023　東京都新宿区西新宿 6-14-1 新宿グリーンタワービル19F
TEL（03）3344-6476　FAX（03）3344-5734
お客様ご相談窓口 0120-077-920
（受付時間 9:00〜12:00　13:00〜17:00 土日・祝日および当社祝日を除く）
http://www.optex.co.jp
この説明書は、再生紙を利用しております。
08.08　5908893
MADE IN JAPAN

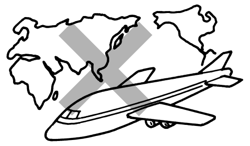
４．正しくお使いいただくために

ワイヤレスセキュリティシステム／ワイヤレスセキュリティシステムⅡ／ワイヤレスセキュリティシステムⅢをご使用になる際は、下記の項目にご注意ください。

パソコン・電子レンジ・冷蔵庫・モータを使用した機器のそばではご使用にならないでください。（通信器の誤動作・受信器の動作不良の原因になります。）



海外でご使用にならないでください。その国の法律で罰せられることがあります。



直射日光の当たる場所や高温になる場所での保管・設置はしないでください。

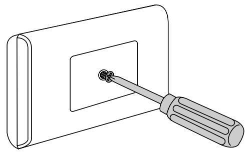
強い衝撃（落下・殴打・ぶつけるetc.）を与えないでください。

汚れた場合、薬品を使わず柔らかい布などで拭いてください。

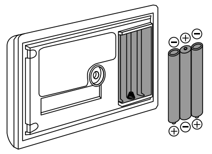
次の条件で使用しますと、電波の到達距離が100mより短くなることが有ります。
- 送信器と受信器の間にスチールドア、鉄筋コンクリートなどの金属製の障害物がある場合。
- 送信器もしくは受信器の取り付け面が金属製の場合。
- 放送局などの強い電波を出しているところの近く。
- 高圧線・線路沿いなどの電気的ノイズが多いところの近く。
- 受信器のアンテナが、十分、伸びていない場合。

５．ご使用の前に

①．本体の裏側のカバー固定ビスを外す。

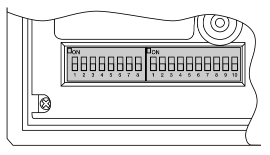


②．バックカバーを外し、電池ホルダーの表示の方向にあわせて、単四アルカリ乾電池３本を入れる。

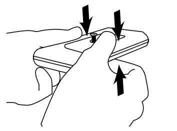


⚠ 注意
電池を入れるときは、表示の通りに入れてください。間違った方向で入れると機器の破壊・故障・発火の原因になります。

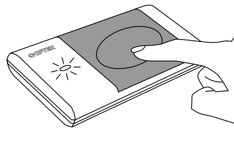
③．スイッチの設定を行う。
「８．各種スイッチの設定」を参照ください。



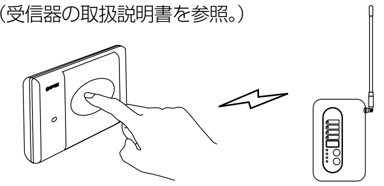
④．バックカバーを閉じ、防水パッキン（赤色）との合わせ目を、隙間がなくなる様に指で押してから、カバー固定ビスをしっかりと締める。



⑤．送信ボタンを押して、動作表示灯が点灯することを確認する。



⑥．受信器とあわせて個別登録・動作確認をする。（受信器の取扱説明書を参照。）



⚠ 注意：カバー固定ビスをしめてから、防水パッキンとバックカバーの合わせ目に隙間がないことを確認ください。カバー固定ビスが十分に締まっていないと、合わせ目に隙間が出来、水が内部に入り、機器の故障の原因になります。

６．電池の交換

⚠ 注意	電池は単四アルカリ電池以外のものを使わないでください。充電式（Ni-Cd）電池等を使うと、破裂、液漏れなどを起こし、けが・やけどをする恐れがあります。
⚠ 注意	古い電池を新しいものと混ぜたり、種類などが異なる電池を混ぜて使わないでください。液漏れを起こし、やけどをしたり、衣服を汚したりする恐れがあります。
⚠ 注意	電池の交換の際には、電池を入れる方向を間違えないようにご注意ください。方向を間違えたまま、むりやり電池を入れると、機器の破損・故障・発火等の原因となります。

・ローバッテリの表示について

システムを使用されている際、以下の場合は、電池の交換を行ってください。

①．送信器の送信ボタンを押したときに、通常点灯する動作表示灯が点滅する。

②．受信器に設けられている、ローバッテリ表示が表示される。（受信器の取扱説明書をご参照ください。）

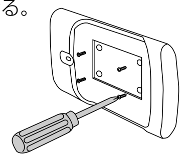
７．付属品の説明

本製品には、押しボタン送信器を壁に固定する為のホルダー（壁面取り付け用ホルダー）が付属しています。
浴室で本製品をご使用いただく際には、必ず壁面取り付け用ホルダーで、押しボタン送信器を壁に取り付けてください。

７－１．ホルダーの壁への取り付け方

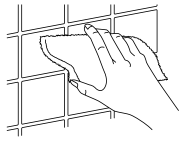
１．ビスで固定する場合

必ず付属の取り付けビス４本を使って、ドライバーでしっかりと締めて取り付ける。

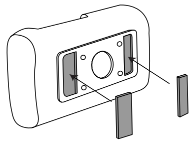


２．接着テープで固定する場合

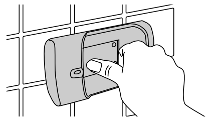
①．接着する場所を平らで滑らかな面に決め、汚れ・水気を十分に拭き取る。



②．付属の接着テープ２枚の片面の剥離紙を剥がして、ホルダーの裏面の金属の箇所に貼る。

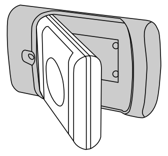


③．ホルダーの裏面の接着テープの剥離紙をすべて剥がしてから、①の場所へ、ホルダーを強く押し当てて、接着する。

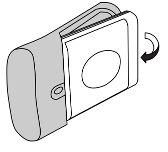


７－２．押しボタン本体のホルダーへの入れ方

①．ホルダーに表示灯の穴が空いている側へ、本体を差し入れる。

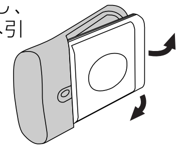


②．本体の反対側へホルダーを覆い被せる。

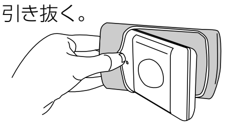


７-３．押しボタン本体のホルダーからの外し方

①．ホルダーが本体に覆い被さっている狭い側を外へ広げて外し、本体を手前へ引き起こす。

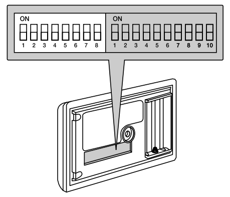


②．イラストのように、本体とホルダーの間に指を入れ、スキマを作りながら、本体をホルダーから引き抜く。



８．各種スイッチの設定

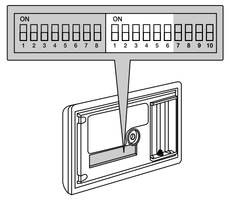
８－１．システムコード



・システムコード設定スイッチ（左側のスイッチ）
他の小電力セキュリティシステムとの混信防止のためのコードの設定機能です。
システムの設定時には、混信防止のためのシステムコードを出荷時と違う設定にしてご使用ください。
混信する場合にはシステムコードの変更（送信器・受信器全て）を行ってください。

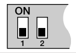
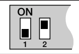
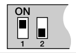
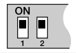
ご注意　送信部のシステムコードスイッチの８番目のスイッチは必ず「ON」にして、送信器と受信器のシステムコードは必ず同じに設定してください。

８－２－１．ゾーン・モード設定（WPB－200の場合）



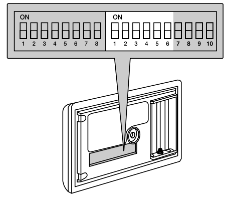
・ゾーン設定スイッチ（右側のスイッチの１番目、２番目）
受信器で受信するゾーン番号を設定します。
受信ゾーンと受信器のモードの状態により、受信時の受信音が変わります。スイッチの設定・受信器モード・受信音は、右表を参考にしてください。

・モード設定スイッチ（右側のスイッチの３番目～６番目）
受信器が受信可能なモードの設定をします。
“来客”、“在宅”、“外出”は同時に複数の設定ができます。

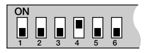
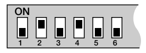
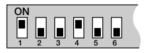
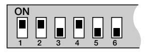
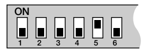
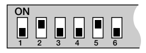
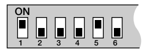
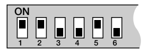
	受　信　音			
	“来　客”	“在　宅”	“外　出”	“非常・火災”
	スイッチ3　ON	スイッチ4　ON	スイッチ5　ON	スイッチ6　ON
：ゾーン１	♪♪ピンポン♪♪	》ピーポー《 （警報音）		
：ゾーン２	♪♪ポロロン♪♪			
：ゾーン３	♪♪ピッピッ♪♪			
：ゾーン４	♪♪ピピッピピッ♪♪			

ご注意　送信器で“非常・火災”モードを設定すると、受信部のモードに関係なく、その送信器の信号を受信すると、受信器は警報音と接点信号を出力します。

８－２－２．ループ設定（WPB－200Ⅱ／WPB－200Ⅲの場合）

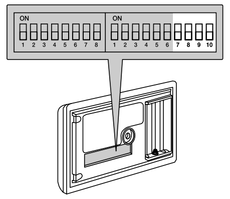


・ループ設定スイッチ（右側のスイッチの１番目～６番目）
受信器で受信するループ番号を設定します。スイッチの設定は下表を参考にしてください。

：ループ１	：ループ２	：ループ３	：ループ４
：ループ５	：ループ６	：ループ７	：ループ８

ご注意　WPB－200Ⅲを、受信器WLR－400で受信する場合は、上表の“ループ５”～“ループ８”の設定はしないでください。WLR－400では受信することが出来ません。ただし、WPB－200Ⅲを、受信器WLR－100で受信する場合は、上表の“ループ１”～“ループ８”のどの設定でも受信することは可能です。

８－３．機能設定



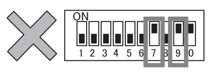
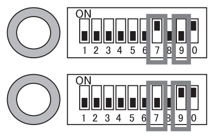
・連続送信機能（右側のスイッチの７番目）
送信ボタンを１度押すことで、≪電波の送信－２秒の休止≫動作を繰り返し（連続送信）、再度、送信ボタンを押すことで、送信を停止する機能です。
７番目のスイッチを「ON」にすると、この機能を設定できます。「OFF」にすると、送信ボタンの操作毎に、電波の送信を行います。
……………………………………………………………………………………………（出荷時「OFF」）

・ボタン操作受付時間切り替え機能（右側のスイッチの８番目）
送信ボタンの操作受付時間を約１秒と約0.1秒のどちらかに設定する機能です。
８番目のスイッチが「ON」で、約１秒／「OFF」で、約0.1秒です。……………………………（出荷時「OFF」）

・誤操作キャンセル機能（右側のスイッチの９番目）
誤操作により、送信ボタンが押されても、すぐに電波を送信せず、キャンセル受付時間（約５秒）の間、動作表示灯の点滅（10回）＋短いブザー音（10回）を出力し、その（約５秒）間の送信ボタンの再入力により電波の送信をキャンセルする機能です。
キャンセル受付時間が過ぎると、長いブザー音の後に、電波が送信されます。
９番目のスイッチを「ON」にすると、この機能を設定できます。……………………………（出荷時「OFF」）

・ブザー音　入／切（右側のスイッチの10番目）
送信ボタンが押されたときの操作確認音と上記：誤操作キャンセル機能でのブザー音の入／切を設定する機能です。
10番目のスイッチを「ON」にすると音が出て、「OFF」にすると音はでません。……………（出荷時「ON」）

８－４．ご注意

・連続送信機能（スイッチ７）と誤操作キャンセル機能（スイッチ９）を共にONの設定にしないでください。
この設定の場合、電波の送信がキャンセルできません。
（キャンセル受付時間（５秒）の間に送信ボタンを再度押しても１時間以内に電波が送信されます。）